

H26年度自己評価表

青翔開智中学校・高等学校

中長期目標(学校ビジョン)	今年度の重点目標
「探究」型学習による発展的な学び実践。それを補完するためICT教育および図書教育充実を図る。学校生活におけるあらゆる場面における「探究」的な姿勢をを通じ、国際社会に通用するリーダーシップを発揮できる人間を育成する。	1、教科・科目として「探究」授業みならず、全教科指導・学習指導および学校生活全般における「探究」型学習・「探究」的姿勢実践、創造と体系化。 2、上記を円滑かつ効果的に推進するためICT教育および図書教育実践と体系化。 3、生徒と教員、保護者と連携を密にし、ともに学校を創造する。

年度当初			評価結果(年度末)		
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価基準	評価	自己評価および次年度の主な課題
重点目標1に対応	<p>探究学習</p> <p>A. SEIKAI6.1の習得。 ・1テーマ設定2情報収集3情報分析4論文5プレゼンテーション6評価の6つのステップを理解させ、各ステップにおける基本的な手法を習得させる。</p> <p>B. 探究的姿勢の習得。 ・さまざまな出来事に対して、生徒が自ら疑問を抱き、解決に向けて計画を立て実行できる力を養う。</p>	<p>A. 青開学会(探究発表会)の開催。 ・発表に向けた準備段階において、SEIKAI6.1の手法の習得と実践を学ばせる。</p> <p>B. グループワーク ・発問を多く取り入れた双方向型授業、アクティブラーニングの実践。 ・生徒が主体的に学習し、授業参画できる授業づくりを目指す。</p>	<p>A. 青開学会(探究発表会)アンケートにおける、自己評価・他者評価がB評価以上を目標とする。</p> <p>B. 授業アンケート、教員アンケートによるアクティブラーニング、双方向型授業、グループワークの導入60%以上を目標とする。</p>	<p>A. 評価B</p> <p>B. 評価できず</p>	<p>A. 自己評価による達成度60%以上、他者評価アンケートによる満足度80%以上を獲得、総合的に判断しB評価とした。</p> <p>B. アンケート未実施のため評価できず。次年度改めてアンケートを実施し、評価を行う。</p>
重点目標2に対応	<p>ICT教育</p> <p>A. iPadを用いたプレゼン資料作成。</p> <p>B. iPad教科教育へ活用。</p> <p>C. 情報モラル習得。 ・情報化社会において、インターネット、iPad利用を通じ、生徒が自主的に考え行動できる環境をつくる。</p>	<p>A. 前期 ・創部、学校行事企画。 ・青開学会(探究発表会)におけるプレゼンテーション資料をiPadを用いて作成する。</p> <p>B. 後期 ・各教科授業に必要なアプリを導入。</p> <p>C. 年間 ・情報モラル講演会(生徒・保護者対象に実施) ・ICT委員会立ち上げと運営。</p>	<p>A. 創部、学校行事企画、青開学会プレゼンテーションのプレゼンテーションがiPadを用いたものかどうか。プレゼンにおける活用60%以上を目指す。</p> <p>B. アプリ導入状況、活用状況調査を行い、導入活用50%以上を目指す。</p> <p>C. 情報モラル講演会は年間1回。ICT委員会を立ち上げを行い、iPad利用ルールの作成を行うことを目指す。</p>	<p>A. 評価A</p> <p>B. 評価できず</p> <p>C. 評価A</p>	<p>A. 学内プレゼンテーションは全てiPadを活用した発表にするよう推進した。活用率が100%に近い活用状況であったため評価をAとした。次年度生徒の活用も100%に近い値となるよう、仕組み作りを力を入れる。</p> <p>B. 授業に必要なアプリを教職員から募り、生徒へ配信を行ったが、その後のアプリ活用についてアンケート実施できず未評価とした。次年度はアプリを含めたICT活用アンケートを実施し、評価を行う。</p> <p>C. 保護者向け講演会を1回、生徒向け講演会を1回実施した。ICT委員会を立ち上げ、iPad利用ルールを作成を行い運用を開始した。総合的に判断し評価をAとした。次年度は生徒・保護者への講演会を引き続き行うこと、生徒アンケートをもとにルールの改正を検討する。</p>
重点目標2に対応	<p>図書教育</p> <p>A. 図書教育Baseづくり。</p> <p>B. 教科学習へ図書利用促進。 ・生徒が学校生活あらゆる場面において図書を使って調べ、自ら情報を選択する力を養う。 ・生徒が多様な本に出会い、学力みならず社会に出る上で教養を身につける。</p> <p>C. 探究学習へ図書利用促進。 ・各教科担当と図書担当連携をかり、「探究」を始めとする授業で図書利用実績をつくる。</p> <p>D. 図書委員会創設。 ・学校図書館運営を生徒・教員協力で行う。</p>	<p>A-1. 朝読書実践。</p> <p>A-2. English Broadcast(英語読み聞かせ)実践。</p> <p>B. 季節展示・テーマ展示・図書館企画充実。</p> <p>C-1. 図書授業利用について、授業者と連携体制を構築する。</p> <p>C-2. 探究委員会と連携体制を構築する。</p> <p>D. 貸出業務、書架整理、選書、配架、本紹介等、教員・生徒協力を通じ、図書教育リーダーを育成。</p>	<p>A-1. 実施率(実施日/開校日)100%を目指す。</p> <p>A-2. 年間計画実施率100%を目指す。</p> <p>B. 前後期1つ以上図書館企画を実施。</p> <p>C-1. 全教科 ・科目における授業利用達成。アンケート評価B以上を目標。</p> <p>C-2. 県立図書館と連携し、探究テーマに添った図書選書を提供。実施率100%を目指す。</p> <p>D-1. 生徒アンケート ・教員アンケート評価B以上を目標。</p> <p>D-2. 生徒一人あたり貸出数年間25冊達成。</p> <p>D-3. 図書リクエスト数年間100件達成。</p> <p>D-4. 図書委員による店頭選書2回実施。</p>	<p>A-1. 評価A</p> <p>A-2. 評価B</p> <p>B. 評価A</p> <p>C-1. 評価B</p> <p>C-2. 評価A</p> <p>D-1. 評価A</p> <p>D-2. 評価A</p> <p>D-3. 評価B</p> <p>D-4. 評価A</p>	<p>A-1. 開校当初より開始し、行事や必要な集会を除き実施した。</p> <p>A-2. 開校から間を置いてからの実施となった。開始からは継続的に実施した。</p> <p>B. 前後期1つ以上の企画展示、その他図書館が主催のイベント等を実施した。</p> <p>C-1. 各科目での授業利用が実施できた。アンケートを実施していないため厳格な評価ができないため評価Bとした。</p> <p>C-2. 各学年の探究のテーマ、個人のテーマにまで対応して選書を実施した。</p> <p>D-1. 自分たちが一期生として図書館をつくるのだという意識をもって頑張っていた。</p> <p>D-2. 全学年にわたり達成した。</p> <p>D-3. 達成できなかったが、目標数から隔たつてはなかった。</p> <p>D-4. 店頭による選書1回、学内に本を持ち込んでもらったの選書を1回実施した。</p>
重点目標3に対応	<p>学校創造</p> <p>A. 生徒会創設。 ・学校行事創設。 ・部活動創部。</p> <p>B. 保護者会設立。</p>	<p>A. 生徒提案(プレゼンテーション)による企画提案</p> <p>B. 保護者会設立。 ・組織づくりおよび会則等規定作成</p>	<p>A. 生徒会組織立ち上げ ・生徒会規約作成 ・各委員会活動推進 ・学園祭企画</p> <p>B. 各種ワーキンググループ設置</p>	<p>A: 評価B</p> <p>B: 評価A</p>	<p>A: 生徒会規約が未完成のため平成27年度で完成を目指したい。その他については、計画通りに進んでいるため、評価Bとする。</p> <p>B: 地域連携・スクールバス・校則・学園祭等のWGを設置した。予定通りの設置なので評価Aとする。平成27年度は給食など必要と思われるWGの設置を目指す。</p>

評価基準 = A:ほぼ達成(8割以上) B:概ね達成(6割以上) C:変化の兆し(4割以上) D:不十分(4割未満)